

みなみちた 議会だより

第116号

平成18年8月1日



内海小の七夕会

◇ 6月定例議会

「16議案を可決」	-----	2ページ
「委員会スポット」	-----	3
「町の考えは・一般質問6氏」	-----	4

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18
発行/南知多町議会 ☎65-0711
編集/議会広報特別委員会 FAX65-0694

平成18年度一般会計 補正予算などを可決



 6月定例議会は、6月13日に開会、十日間の会期を経て、町長提案の十四議案を可決しました。
 また、議員提案の議案と意見書各一件を可決し、請願一件を不採択として、22日に閉会しました。
 その主なものの概要を、お知らせします。

平成18年度一般会計 補正予算(第一号)

○補正の主なもの

- ・国民年金システム開発業務委託料の増
一七〇万一千円
- ・老人保健特別会計繰出金の増
一九八万五千円
- ・保育所環境整備費(内海)の増
一千三一六万九千円

(賛成多数)

平成18年度国民健康 保険特別会計補正予 算(第一号)

○補正の主なもの

- ・国民健康保険システム修正業務委託料の増
二二万七千円
- ・保健衛生普及費の増
二五万二千元

(賛成多数)

平成18年度老人保健 特別会計補正予算 (第一号)

○補正の主なもの

- ・老人保健システム修正業務委託料の増
一九八万五千円

- ・国県支出金等返還金の増
四八〇万六千元

(賛成多数)

固定資産評価審査委 員会委員の選任同意

任期満了に伴い、選任することについて同意を求めるもの。

- 濱野幸治氏(内海)
(再任)
- 家田邦義氏(豊浜)
(再任)
- 山下 豊氏(師崎)
(再任)

(全員賛成)

教育委員会委員の任 命同意

五名の委員のうち一名が任期満了に伴い、任命することに同意を求めるもの。

- 小久保五資氏(篠島)
(新任)

(全員賛成)

農業委員会委員の推 薦(議員提案)

農業委員会等に関する法律により、四名を議会

から推薦するもの。

- 中川奉三氏(内海)
(再任)
- 田中 隆氏(豊浜)
(再任)
- 愛葉さか江氏(篠島)
(再任)
- 大西照彦氏(日間賀島)
(新任)

(全員賛成)

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書

(全員賛成)

小泉首相に靖国参拝の中止を求める意見書提出についての請願

(賛成少数)

委員会スポンジ

▽建設厚生委員会 △

平成18年度一般会計補
正予算(第一号)

問 ごみ減量化対策事業で、自動車リサイクルの補助を受ける財団法人自動車リサイクルセンターはどこにあるのか。

答 所在地は、東京にある。処理を行う業者は、半田市と阿久比町の業者で、処理を行うために必要な許可を愛知県知事より受け、「フロン類」「エアバック類」「シュレッダーダスト類」の処理が行える業者である。

問 民生費の老人保健特別会計繰出金の繰出理由は何か。

答 医療制度改革等により老人保健のシステム修正業務を行うため、老人保健特別会計に繰り出すもの。

▽総務文教委員会 △

平成18年度一般会計補
正予算(第一号)

問 財政調整基金繰入金が大きく減額となっているが、主な原因は何か。

答 従来、公務災害補償の対象となる通勤の範囲は、住居と勤務場所との間を、合理的な経路及び方法により往復することとされていたが、複数の勤務場所を移動して勤務した場所も、その間を通勤の範囲とすることを明確にするため、改正するもの。

問 一 の勤務場所から他の勤務場所への移動の考え方はどうか。

答 議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

問 平成17年度老人保健特別会計の会計精算により、平成18年度老人保健特別会計繰入金

が三千六九九万七千円増

- 1 番 榎戸陵友議員 (1) 児童・生徒の登下校の安全対策について
(2) クリーンエネルギーを考える
- 2 番 相川成三議員 (1) 森下町長の再選出馬について
(2) 人口減少の歯止め策
- 3 番 高橋孝夫議員 (1) 我が町の防災対策について
- 4 番 木村清美議員 (1) 障害者福祉の充実について
- 5 番 松本 保議員 (1) 広域営農団地農道整備事業(広域農道)について
- 6 番 石橋弘紹議員 (1) 森下町長の二期目に向けての決意を問う

一般質問

児童・生徒の登下校の 安全対策について



榎戸陵友議員

問

またも、下校中の小学生の命が奪われた。秋田県藤里町の小学一年生、米山君が、自宅から約十キロ離れた川沿いの草むらで絞殺死体で発見された。広島市と栃木県日光市では、小学一年の女児が犠牲になった。川崎市では、小学三年の男児がマンション十五階の通路から投げ落とされた。いずれも、この半年間に発生した、下校中の殺人事件だ。保護者にとっては、我が子の学校から無事に戻った顔を見るまで、不安でならないだろう。政府も昨年12月、警察庁や文部科学省など関係省庁による、連絡会議を設け、様々な対策を取り始めている。自治体や警察、保護者が協力した防犯活動も盛んになっている。昨年からは本町で、登下校中事故や事件が何件発生したか。

答

日比教育長
町内十三校の学校から、登下校中の事故や事件の報告はなかった。

問

子ども110番の家は、十分機能しているか。

答

本町では、平成10年度から、半田警察署と連携しながら通学路を中心に、子ども110番の家を設けてきた。この看板を掲示することにより、地域の防犯意識の高揚と、安心・安全な登下校につながっていると思う。本年度、八五軒の家にご協力とご理解をいただいている。

問

安全通学路マップを作成してはどうか。

答

児童・生徒自身に通学路の安全マップを作成させることは、地域を知り、安全意識を高め、自分で自分を守る態度の育成に大変効果的であると認識し、奨励している。

問

各小・中学校へ登下校の安全対策についてどのような指導をしているか。

答

登下校の安全に関しては、通学路の安全点検はもちろん下校方法の再検討を含めて、安全と安心を探索し、実践してきた。



▲通学路（大井小）

クリーンエネルギーを考える

問

豊かな自然と生活環境を守っていくことは、我々ばかりでなく、子々孫々のためにも重要なことであるが、開発の名のもとに自然環境の破壊や汚染が進んでいるのも事実である。我々の住む地球を守るため、今、クリーンエネルギーとしての太陽光、風力の活用が大きな注目を集めている。現在はエネルギーの基本は石油であるが、資源は有限であり、地球温暖化の原因となっている。本町は、風力発電についていかがお考えか。

問

太陽光発電についていかがお考えか。

答

風力発電とともにクリーンな石油代替エネルギーとして注目されており、太陽光発電システムの導入を国や地方公共団体がサポートしている。本町においては、財政状況により補助制度の検討をしていく。

答

町ではクリーンエネルギーについて、どのように認識しているか。

答

地球温暖化防止のための対策として、推進しなければならないと考えている。

答

小久保総務部長
民間企業における風況調査が実施され、環境や騒音などの可能性調査も引き続き実施されている。地球規模での環境問題への取り組みがなされている状況下で、本町の自然環境が風力発電に適地となれば、環境との調和を図りながら風力発電施設の誘致を検討して

森下町長の再選出馬について



相川成三議員

とも十分あるので町政発展のため再度出馬したい。

人口減少の歯止め策

問

森下町長の任期は余すところ半年余となった。頑健な体と素早い行動力で日夜駆けずり回り、一期目にして師崎の駐車場を始め多くの実績を積まれた。今年から全国市町村水産業振興対策協議会の会長に就任され、我が町に心強い支えを得た感じである。さて、最近巷では、「森下町長はどうかなあ」と、森下町長に期待する声も聞く。ここで、次期町長選へ出馬について森下町長のはっきりとした意志表示を賜りたい。

答

森下町長
月日のたつのは早いもので、就任以来三年と五か月がたつ。この間懸案の師崎港駐車場や特別養護老人ホーム「大地の丘」等が完成したが、まだまだ多くの事業を抱えており、町民のご支援が頂ければ、気力・体力

問

6月1日に南知多町四十五周年記念式典が行われたが、我が町の人口はずうーと右肩下がり減り続けて来た。中央の繁栄と過密、地方の貧困と過疎、この地域格差。その責任は国にあり、このような結果になることを見過して来た私たち地方住民にもあるが、国のことはここで論じることが出来ない。ここで、我が町はどうして行くのか、南知多町の人口減少の要因は何か、執行部の認識を問う。

答

小久保総務部長
本町の人口減少の要因として、産業関係では、農漁業が不振となりサラリーマン化など生産年齢人口の転出に拍車がかかったこと。土地関係では、地価が近隣市町より高く町内で安価な宅地供給ができなかったこと。

問

教育の手段としての転出なども起因し、車社会に対応した道路網及び住宅環境の整備が不可能であったこと。雇用関係では、本町における土地利用規制が多くかかっており、企業誘致もままならず雇用の場の提供ができなかったことなどが推測される。

問

今後人口減少の歯止め対策をどの様に進めて行くか。

答

東京や都市圏に一極集中する傾向は全国的であり、人口減少をくい止めるのは大変難しいと言わざるを得ないが、地域内で何を進めていくべきか、庁舎内で取り組んでいるところである。そのため、まちづくり地域づくりとして検討していく組織を地域自ら立ち上げていただくよう、今後議員さんとも調整を図りながら少しずつ進めていきたいと考えている。

問

宅地問題について、都市計画法は、都会住民のための法律で、我々住民が、市街化調整区域に一坪の家を建てようと思っても非常に難しい。

答

森下町長
質問の全般について、人口減少の原因は雇用場所が少ないこと。交通の便が悪いこと。法律は都会に有利、田舎に不利にできている。しかし都会の真中で野菜や食糧は作れない、田舎あつての都市生活だ。町民の皆さんが元氣の出る町にしたい。今ここで一つ一つ何をどうと明確にすることはできないが、しっかりと勉強をしております、産業が栄える町づくりに、更なる努力をしていきたい。



▲賑わっていた内海海水浴場

我が町の防災対策について



高橋孝夫議員

問

災害時の指定避難場所の海拔があまりにも低かったり、海岸に接近しているところもあり、風水害、火災時の避難中にも地震・津波の発生も考えられる事なので非常に危険を感じる。もう一度指定場所の再点検をお願いしたい。

答

小久保総務部長

災害時の避難場所については、地震、災害時の避難広場として中学校のグラウンドや公園など町内二十六箇所を指定している。また、台風など風水害時の避難所としては、小中学校など体育館や公民館など二十七箇所の施設を指定しており、それぞれ各地区に一箇所を地区の活動拠点となる「地区拠点基地」を定めている。

ご指摘いただいたとおり風水害等の避難所の中には、津波による浸水地



▲整備された門扉

域に予測される場所が五箇所あり、地震火災時における避難広場については、国・県が予測した浸水区域に含まれる場所は三箇所ある。但し、二箇所については、津波警報発令時は使用しないこととしている。現状において各地区において複合した災害に対し、一箇所での対応できる避難場所の確

保は困難であることをご理解いただきたい。

また、地区拠点施設のうち海拔の低い師崎中学校は津波の浸水区域には指定されていないが、津波警報時は隣接のナポリ公園を一時避難広場としている。これらの地区拠点施設は、地震発生後における救援や救護の「地区拠点基地」として活動

することとしている。

このため、災害発生時における避難広場や避難所、避難経路などについては、町民の皆様が日頃から災害に備えた準備などを意識していただき、安全に避難できるよう対応をお願いしたい。

問

避難広場の隣接する所にテント、ストープ等の倉庫の設置を願う。

答

地震津波警報の発令中は、一時的に避難広場に避難していただき、その後、隣接する体育館などの施設に移動していただくこととなる。

各地区の拠点基地には、順次防災倉庫の設置を進めており、15年度から日間賀島、篠島、師崎、豊浜地区にそれぞれ整備をした。19年度に内海地区とそれぞれ各地区に一箇所整備する予定である。

整備する倉庫の身上については、第一次避難に必要な備品等を整備している。なお長期にわたる災害避難にあつては、自衛隊の派遣要請するなど

対応することとなっている。

問

各地区での自主防災組織の設立について。

答

災害発生後は、情報等も混乱し、防災機関による適切な対応が困難となることから、地域住民が相互に助け合い、人命救助や初期消火に努めることが被害の軽減に大きな役割を果たすこととなる。

防災組織設立後は、避難・救助の訓練をお願いし、その組織に必要があれば、隣組単位での住民台帳の作成をするなど個人情報を整理し、組織の役員のみでなく、地域住民皆様の組織への参加、協力が不可欠である。

未設置の地域については、他地区の参考例などを示して、地域に密着した実効性のある組織づくりができるよう支援していく。

障害者福祉の充実について



木村清美議員

問

障害者福祉計画作成に当たっては、どんな事を念頭に置きどんなことに注意して策定されるのか。

答

田中厚生部長

障害者自立支援法第八八条に基づき、国の基本指針を踏まえ市町村に、障害福祉サービス、相談支援及び地域支援事業の提供体制の確保を定めた計画作成を義務付けられたものである。また、この計画には、各年度における指定障害福祉サービスの種類ごとの必要量の見込み、見込量の確保のための方策を定めることとされているので、障害者等の生活の実態を把握した上で、関係機関との緊密な連携を図り、自立支援給付及び地域生活支援事業を総合的かつ計画的に行うことが出来ることを念頭に、障害者等の障

害福祉サービスの給付、支援の仕組を確立し、また、安定的に利用できるような内容を盛り込んだ、障害福祉計画を策定したいと考えている。

問

三障害が一本化という事は、大人と同じサービスにするという事か。発達期にある児童福祉の特性と矛盾するのではという声もある。特に幼児の支給決定の為に認定区分には問題があると思うがその調査内容はどんなものか。

答

障害児については発達途上であり、状況が変化することや、育児上のケアとの区分が必要なこと等、検討する課題が多く現在は、指標が無いため、平成18年10月から十五歳以下の障害児については、食事、排泄、入浴、移動、行動障害及び精神症状の五領域十項目の調査を行った上で支給の要否及び支給量を決める予定になっている。



▲すいせんひろば

問

通所施設等では施行後三年間、低所得の場合は食材費のみ負担となるため、三分の一負担となると負担軽減策があるが、食材費のみでも他利用料等の負担もあり、三年後も継続を求め

答

軽減は三年間の経過措置であるため、経過措置後の軽減は考えていない。

問

障害児の福祉用具については、成長期であり体型にあわせて頻回に調整や購入をしている。購入費、修理費が多額となると思われ、費用の助成対策を求め

答

補装具の使用年数は、〇歳は四か月、一歳から二歳は六か月、十五歳から十七歳は一年六か月と年齢により決められている。補装具の購

入や修理は利用者負担一割となるが、所得により上限額が設定される。自己負担への助成は現在行っていないので、考えていない。

問

地域生活事業の必須事業の一つ、コミュニケーション手話通訳が出来ることが、町窓口には必要と思うが、現在町内に何人いるか。今後ヘルパー増員など引き続きマンパワーの育成に力を入れるよう求める。

答

現在、手話通訳の講習は、社会福祉協議会において実施している。この講習会を受講された人の中で、一人の方が手話通訳士の認定試験に向け頑張っていると聞いており、今後も社会福祉協議会と連携し、一人でも多くの資格が得られ人材育成に力を入れる。

広域営農団地農道整備事業 (広域農道)について



松本 保議員

問 広域農道として県より町に移管されたか。移管されたのはいつか。

答 石堂建設経済部長
片名字郷中から内

海字桐木までの区間においては、昭和63年に事業を開始し平成17年度まで全体延長一〇・一七kmの内八・四六kmの区間が事業費三〇億七千九〇万円で完成している。南知多町内の区間(七・〇五km)においては、供用開始された区間毎に管理の協定を結んでいる。今回供用開始された内海工区一・八四kmの区間については平成18年3月20日に協定を結び、現在町が管理している。

問 道路維持管理としてお聞きする。現在、知多南部土地改良区において、作業報酬費を支払い地区内の道路等の

草刈り、側溝浚渫をお願いしている。しかしながら、土地改良区の地区からはずれた場所においての道路法面は、草や木が伸び放題になっているのが現状である。工区に対して、草刈り、側溝浚渫をお願いすることは出来ないか。それが無理なら、町が維持管理することが当然であると思われる。

昨年9月議会での建設厚生委員会において建設課に質問したが、その後どの様に検討したかお

聞きしたい。

答

ご質問のとおり、広域農道が知多南部土地改良区の区域内の箇所については、草刈り等は各工区が出来る範囲内で行っているが、今後も改良区にお願いしていきたいと考えている。区域外については、地域の皆様の協力を得ながら、交通に支障を及ぼす様な箇所は町で対応していきたいと考えている。



▲すいせんロード(知多広域農道)

問

広域農道の未着工区間、内海地区グリーンバレイ横から、山海地区岩屋配水池の間の区間は県道奥田内福寺南知多線の新設・改良区間として計画されているが、見通しはあるか。あれば、いつからか。

答

内海地区グリーンバレイ横から山海地区岩屋配水池までの区間延長約一・七一kmの道路整備については、愛知県において今年度から基礎調査に着手すると聞いている。

問

現在の南知多町の幹線道路としては、町を一周する国道二四七号線と有料道路の二路線である。今後予想される東海地震、東南海地震等の災害発生の際には、国道二四七号線は海岸線を一周しているため、津波において破損し、通行不能と

答

森下町長
県の建設部長にお願いしている。美浜町、南知多町の町境であるため我が町だけでは行えないので、美浜町の齊藤町長とも知多地域の広域農道促進協議会の中で早くやろうと言っている。広域農道は災害時には、有効な手だてになると位置づけているので、早期完成に向け鋭意努力していく。

森下町長の二期目に向けての 決意を問う



石橋弘紹議員

問

森下町長は平成15年1月23日に就任された。早いもので来年1月22日で森下町長の任期は満了となる。本町は昭和36年6月1日に五町村合併から発足四十五周年を迎える事になった。この長年にわたる歴代の町長さん方には、南知多町の発展に寄与された功績に、心より敬意を表するものである。

国は三位一体改革による補助金の削減、町税も景気の低迷、個人所得の減により伸びを見込めない状況にある。

さて「南知多町に新しい風」をとスタートし、行動と実行力に富んだ森下流の個性を生かし、長年の念願であった「師崎港の立体駐車場」の建設に当たり、これも地元及びあらゆる方面に熱心に働き掛け、努力されて見事完成に至った。おかげで、両島の観光

客も増大し本町観光の発展に寄与された功績は、高く評価するところである。

また、特別養護老人ホーム「大地の丘」も昨年10月にオープンし、これ以外にも数々の仕事を手掛けてこられた。

この様に、町民の声にしっかりと耳を傾け、実行に移す町長の熱意に敬意を表する次第である。

森下町長におかれてはこれまでの実績を十分に踏まえられ、南知多町の発展に更なる飛躍を期待したいと思うが、二期目に向けての決意をお伺いする。

尚、この三年半の町長の総括についての実績等を問う。

答

森下町長

私も町長に就任して以来、財政の厳しい中、皆さん方のお助けを頂きながら私なりに努力して来た。

大きな仕事として師崎港の立体駐車場及び、JA、厚生病院のお力援助を頂き、特別養護老人ホーム「大地の丘」のオ

ープンは町民の皆さんに喜んで頂けたと思う。また、内海・師崎の支所廃止の問題をサービスセンター化に、内海交差点の問題解決、日間賀島の公共下水の料金問題、地震対策、万博には二千人程の動員にて本町のPRなど色々問題解決に努めて来た。

題、これからやらなければならぬ問題が山積しており、私も体力・気力共に自信があるので、皆さん方のご理解を頂き、町政を担当して南知多町の発展と住み良い町にしたいと思うので、二期目の出馬を決意する。

問

町長は今回「全国市町村水産業振興対策協議会」の会長に就任された。何しろ全国の協議会長に就任されたと言う事は喜ばしい事であり、南知多町の水産業に大いなる活躍を期待する。また、今後の抱負について問う。

答

地震対策、水道対策、少子化対策、

障害者福祉の充実、海づくり跡地の問題、篠島港、内海海岸線、漁業者のFRPの廃船の処理問題、広域農道の整備、水産業者の油の価格問題等について、先日、農林省・経済産業省・水産庁に油の値下げ陳情に行ってきた。今後も、国や県の指示を頂きながら、積極的に取り組んでいく。



▲ 師崎港の立体駐車場

内海小学校の

七夕会

学校の七夕会も変化しました。

竹の切り出しや使用後の処分の問題から、「笹の葉サラサラ」とはいきませんが、竹の絵に短冊を貼り付けていく、子どもたちの短冊に託した願いは、いつの時代も変わりません。

「小児科の医者になり、病気を治してあげたい」などと書き、発表する子どもたちの目も輝いていました。

議会日誌

《5月》

22日 全国町村議会議長
24日 研修会
24日 宮城県松島町産業
建設委員会視察来
町

29日 定例郡議会議長

《6月》

6日 議会運営委員会
9日 議会全員協議会
13日 6月定例議会（初
日）
16日 建設厚生委員会
19日 総務文教委員会
22日 6月定例議会（最
終日）
” 議会広報特別委員
会

《7月》

27日 知多南部衛生組合
臨時議会
” 知多南部消防組合
臨時議会

10日 知多地区農業共済
事務組合臨時議会
” 知多南部二市四町
議長広域懇談会
” 知多地域市町議会
議長会・研修会
21日 議会広報特別委員
会
26日 県議長会議長セミ
27日 ナー

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後の「意見・感想」を議会事務局までお寄せ下さい。

※次回の定例議会は9月7日開会予定です。
お気軽に傍聴に来てください。

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、9月24日(日)午前10時と25日(月)午後10時の予定)

編集室より

酷暑お見舞い

申し上げます

議会だよりの編集に携わって、早一年が過ぎました。

議会広報特別委員会は
どういう仕事をするもの
か、一通り分かったよう
な気がします。自分一人
でできるものではなく、
委員全員と事務局が協力
し合って編集に当たるこ
とにより、皆様に愛読さ
れる議会だよりになるこ
と思います。
ご支援のほど、よろし
くお願いします。

(E・Y)

この「議会だよりの」は
古紙配合率100%の再生紙
を使用しています。

皆
の
声
を